

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

625-341

事務事業名	市内建築物アスベスト対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	水道環境部	課等名	環境課		包含する細々目	1	4	1	5	12	2	
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
施策	53 環境汚染の防止											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等	優良建物等整備事業制度要綱(建設省住街発第63号) 長野県アスベスト飛散防止対策事業補助金交付要綱 飯田市飛散性アスベスト除去事業補助金交付要綱						
		事業期間	19	年度～		年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	市内の建築物等	市内に存在する、不特定多数の者が利用するアスベストの飛散の恐れがある建物の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			1			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	アスベストの飛散実態の把握と対策がなされる	アスベストが撤去された建物の数	18目標	最終目標	1	
			18実績	19目標		↑
			23目標	23実績		最終目標達成年度
			18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	アスベストの調査等 <参考> 細々目名:市内建築物アスベスト対策費 飯田市飛散アスベスト除去事業補助金交付要綱に従い事業を実施する者の申請により、補助金を交付する。 補助率は、国1/3(上限400万円)、県1/6(上限200万円)、市1/6(上限200万円)とする。	飯田市飛散アスベスト除去事業補助金交付要綱を策定した。 18年度の実績		
		当該建物の所有者等に事業実施を啓発する。 緊急に当該工事が計画された場合、予算措置等の対応をする。	当該事業実施の建物数	
		19年度計画		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	53	
	事業費計(A)	53	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 240	19年度 80
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	858	286
	トータルコストA+B	911	286

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市民の健康が守られる。	市民アンケート調査による生活環境の満足度(%)	現状値	60	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	67
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>アスベストの除去については所有者個人の責任で実施してもらうことになるが、多額の工事費が必要になる。</p> <p>市民の安全を確保するために早急に工事を実施してもらうのが望ましく、当該建物の所有者の負担を軽減し、アスベストの除去を促進する必要がある。</p>	<p>アスベストの飛散による健康被害が、全国的に大きな問題となっている。</p>	<p>アスベストの飛散の恐れがある建物については、早急にその心配を除くよう対応してほしいという声がある。</p>

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 不可能 (その理由)
			効率性評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>できるだけ早い時期に不特定多数の市民が利用する建物からアスベストが取り除かれる必要があり、当該建物がなくなれば事業を継続する必要はなくなる。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>補助金が交付されるとはいえ事業主負担分もあるので、事業主の理解が必要である。</p>

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	